

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ノアと大こうずい



^{ぶん}
文: E. Duncan Hughes

^え
絵: Byron Unger; Lazarus

^{かいさくしゃ}
改作者: Bob Davies; Tammy S.

^{ほんやくしゃ}
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

^{しゅっぱんしゃ}
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

^{きよか} 許可: ^{たにん} 他人に ^う 売らない限り ^{かぎ} 限り ^{はなし} このお話の ^{また} コピー、又はプリントは、
^{きよか} 許可されています。



かみ

だいす

さんび

ノアは、神さまが大好きで、いつも賛美している

さんび

人でした。でもね、ほかのみんなは、賛美

かみ

などすっかりいやになり、神さまにしたがい

ひ かみ

ませんでした。ある日、神さまは、みんなが

い

ひどくショックをうけるようなことを、言わ

れました。

せかい

「この世界は

わる

こんなにも悪くなってしまった。

ひとつのこらずほろぼしてし

まおう！」そして、

い

ノアにこう言われました。

「ノア、あなたのかぞくだ

たす

けは、助けてあげよう。」



かみ

神さまは、ノアにやがて大こうずい^ちがやってくることを、そしてそ

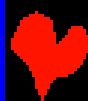
の大こうずい^ちは、すっぽりとこの地^{ぶね}すべてをおおってしまうこと

を、しらせました。「ノア、大きなはこ舟^{ぶね}を、つくりなさい。

あなたのかぞくと^{かみ} たくさんの動物たちみんなが入れるようなはこ舟^{ぶね}をね。

」神さまは、ノアにこう命じられ、どのようにはこ舟^{ぶね}をつくるか、ひとつひとつ
ていねいにおしえてくださいま

した。さあ、ノアは、
いそがしくなりましたよ。





ひと
ノアは、まわりの人たちに、どうして
おお おね
こんなに大きなはこ舟をつくって
いるのか、おしえてあげました。で
も、たぶんみんなは、ノアを
わら
ばかにして笑っ
たでしょうね。

ノアは、もくも
ぶね
くと、はこ舟をつく
りつづけました。そして
かみ い
みんなに、神さまのことを、言い
き
つづけました。でもね、だれも聞こう
とはしませんでした。



ノアは、心のそこから神さまを信じていま
ました。たとえ今まで、ここに一てきの
あめ雨もふったことがなかったとしても、
やっぱりノアは神さまの言われたことを
しん信じたでしょう。まもなくはこ舟は、
いろいろなものを積みこむための
じゅんぴが、すっかりとできあがりました。



どうぶつ

かみ

どうぶつ

さあ、動物たちがやってきました。神さまは、いくつかのしゅるいの動物から、

なな

ふた

おすとめすと七くみ、またそのほかのしゅるいからも二くみ、つれてこられました

とり

ことり

どうぶつ

た。大きな鳥やかわいい小鳥さんも、ちっちゃい動物さんからのつぽ

どうぶつ

の動物まで、みんなそろっ



てはこ
ぶね
舟へやっ
てしま
したよ。



どうぶつ

ようやく、動物さんもとりさんも、

ぶね

みんなはこ舟にのりこみましたよ。

「ノア、さあ

はや ぶね

早く舟にのりなさい。

かみ

」神さまは、ノアをよ
びました。「あなたの
かぞくもいっしょに

ね。」ノアのつま、そし

さんにん

て三人のむすこたちとそのつ

ぶね

またちが、はこ舟にのりこみました。

かみ

ぶね と

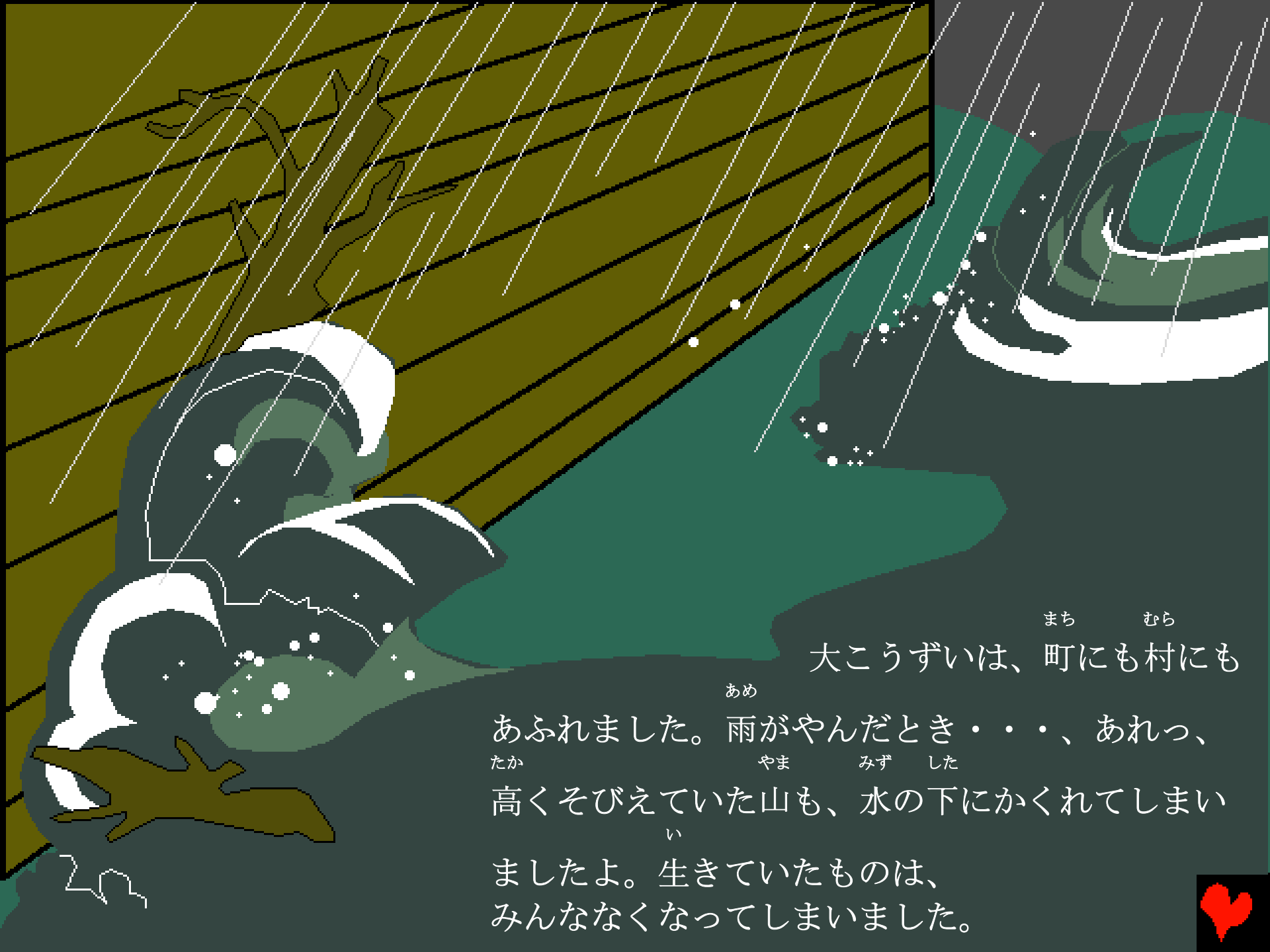
それから、神さまは、はこ舟の戸をぴしゃ
し

りと閉められたのでした。



あめ
いよいよ、雨がふりはじめましたよ。どしや
あめ よんじゅうにち
ぶりの雨です。四十日のあいだ、まいにち
ひる よる
まいにち、昼も夜もふりつづけたのです。な
みず
にもかも水びたし・・・。





まち むら
大こうずいは、町にも村にも

あめ
あふれました。雨がやんだとき・・・、あれっ、
たか やま みず した
高くそびえていた山も、水の下にかくれてしま
い
ましたよ。生きていたものは、
みんななくなっていました。





みず

水がどんどんあふれてくると、

ぶね みず うえ

はこ舟は、水の上にぽっかりと

ぶね なか

うかびました。はこ舟の中は、
くらかったでしょうね。がたが
たゆれたでしょうね。そしてみ
んなこわかったかもしれませ

ぶね だい

ね。でも、はこ舟は、ノアを大
こうずいからまもってくれたん
ですよ。





ご げつ ずい かみ
五か月ものあいだ、こう水はつづきました。そのあと、神さ

まは、かわいた風をおくられました。はこ舟は、のこされた
たか さん

高い山、アララト山のほうへながされていきましたよ。

そう、ゆっくり、ゆっくりと……。ノアは、それから
よんじゅうにち ふね

まだ四十日のあいだ、舟のなかにい
ました。そのあいだ

みず
に水がすこしずつひいてい
きました。





ふね

ノアは、舟のまどをあけ、カラスとハトをはなしてやりました。でもね、とまることのできるようなかわいたきれ

み

いなところが見つからなかったのので、ハトは、ノアのところにもどってきました。」

いっしゅうかん

一週間して、ノアはもういちどハトをはなしてやりました。すると、どうでしょう。ハト

くち

は、あたらしいオリーブのはっぱを口にくわえ

つぎ しゅう

ち

てもどってきましたよ。そして次の週、ノアはこの地がかわいていることが、わかったのです。なぜってね、こんどは、ハトがもどってこなかったんですもの。



かみ

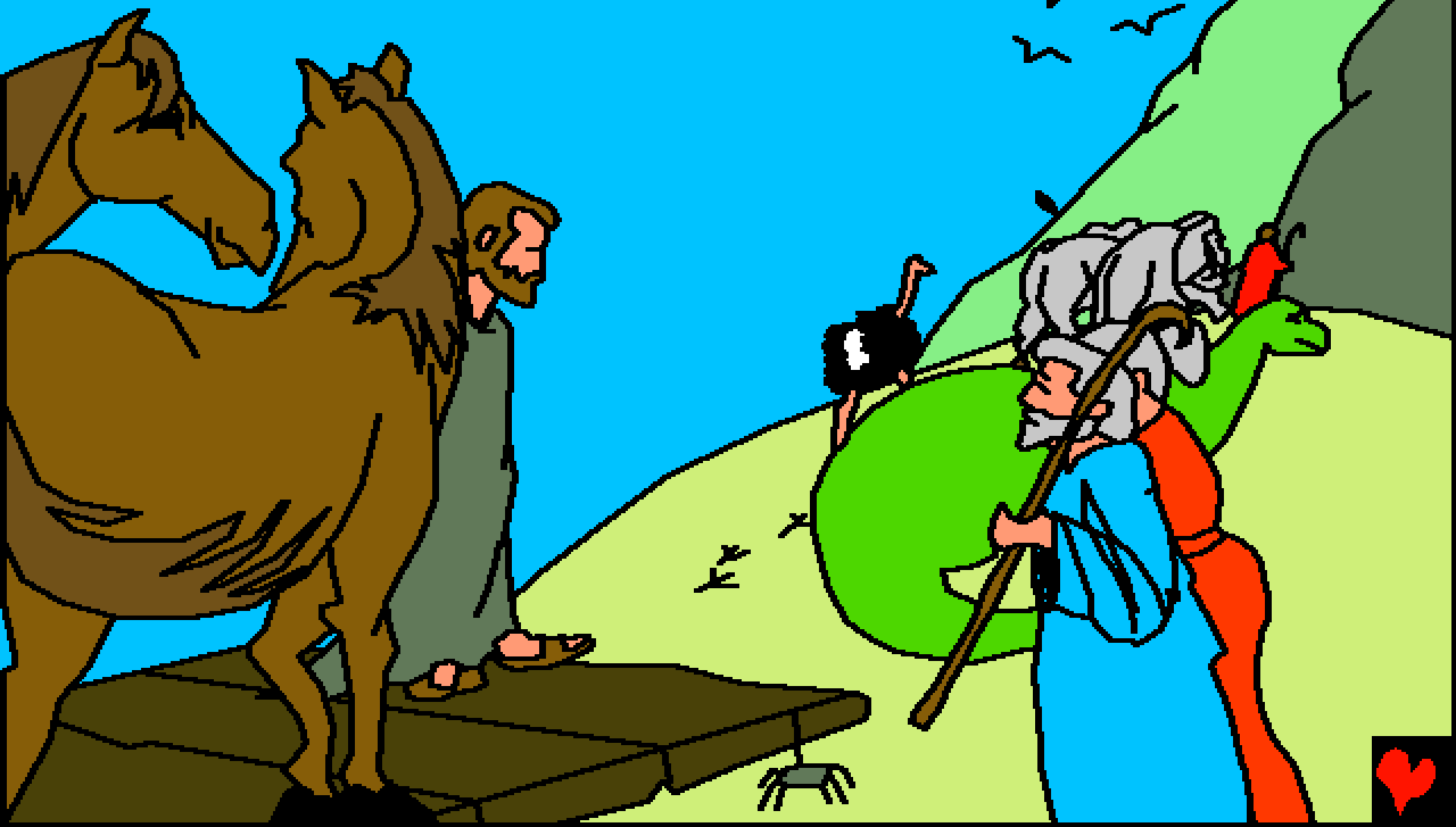
い

ぶね

神さまは、ノアに言われました。「さあ、そろそろはこ舟からでてごらん。」
ノアもノアのかぞくもいっしょになって、どうぶつたちをはこ

ぶね

舟からおろしてあげました。





ノアは、なんてうれしかった
さい
ことでしょう。ノアは祭だん
かみ
をつくり、「神さま、ありが
とうございます。」って、
れいはい かみ
礼拝しました。神さまが、ノ
アもかぞくも、おそろしいあ
らし
から、すくってくださったの
ですから。



かみ
神さまは、ノアにすばら
しいやくそくをしてくださ
かみ
いました。それはね、神さま
に ど ずい
はもう二度とこう水などおこさ
ひと つみ
ないって。人の罪をさばくためにね。

かみ おも
神さまは、そのやくそくを思い
だ
出せるようになって、すてきなものを
くださいました。それは、にじ。
かみ
うつくしいにじが、神さまのやくそ
くのしるしなのです。

だい

大こうずい^{だい}のあと、ノアや
ノアのかぞく^{かぞく}たちは、すべ
てのことを、はじめからあたらしくやりはじめま

した。そのうちに、この地ぜんぶ^ちノアたちのし
せかい^{せかい}じゅう

そんでいっぱいになりました。世界中のいろ
くに

んな国^{くに}の人々はみんな、ノアとその
こども^{こども}　う
子供から生まれてきたのですよ。



ノアと大こうずい

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう
創世記 6 章 - 10 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
しん
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

